

(様式1)

1 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和 5年 12月 8日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3471504179		
法人名	有限会社シンライフ		
事業所名	グループホームスマイル		
所在地	広島県福山市千田町2-33-23 (電話) 084-961-0206		
自己評価作成日	令和5年11月2日	評価結果市町受理日	

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	https://www.kaigokensaku.mhlw.go.jp/34/index.php?action_kouhyou_detail_022_kani=true&JigyosyoCd=3471504179-00&ServiceCd=320&Type=search
-------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	一般社団法人広島県シルバーサービス振興会
所在地	広島市南区皆実町一丁目6-29
訪問調査日	令和5年11月29日

【事業所が特に力を入れている点、アピールしたい点（事業所記入）】

<p>笑顔で活気のある生活を送ってもらえるようにネガティブ要素を排除し、利用者様一人ひとりと関われるようにしている。 利用者様、ご家族様の声を職員間で共有し何を望まれているか必要とされているかを考え、支援している。</p>

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>3食手作りで利用者の協力を得て食事を楽しんでいる。理念が、清潔感や笑顔、個別ケアに活かされている。家族との関係を継続するためのオンラインによる面会や週単位の利用者の血圧・体温・脈拍・食事量の状況を家族に発信する「ヘルスサポート」など工夫をしている。協力医療機関や訪問看護と連携を密に取り看取りを行っている。技能実習生を複数名受け入れるなど職員間の連携が充実している。</p>
--

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の朝礼時に全員で理念を唱和し、日々のケアの中で振り返りを行いながら実践している。	理念は、玄関に掲示してあり、両ユニット合同の朝礼にて唱和している。清潔、笑顔を理念に掲げており、施設内は整理整頓され、笑顔のロゴの工作物もあり、職員は利用者との対応も明るい表情で行っている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で難しい状況が続いてはいるが少しずつボランティアの受け入れを再開している。 年2回の溝掃除、公園掃除へ参加している。	「よさこい」「3B体操」「笑いヨガ」などのボランティアの来訪や、作品展や「とんど」など地域に出向き交流している。町内会に入り年2回の清掃や町内行事を通じて交流している。また、近隣の障害施設や中学校、小学校との交流を図っている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の溝掃除、公園掃除でスタッフが町内会の会員として近隣の方と関わりをもっている。 地域の行事に利用者様と参加したり事業所の行事にお誘いしたりしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍で長く中止していたが今年度より再開している。 2カ月に1回開催しており情報交換と事業所の現状の報告をしている。	新型コロナウイルスが少し落ち着いた段階で運営推進会議を地域包括支援センター参加のもとで再開している。町内会の組長の参加が中断した時期もあったが再会している。地域包括支援センターから制度の情報や地域相談会への参加の提案を受け活かしている。	
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	不明な点は市へ問い合わせたり、市や地域包括支援センター主催の研修等参加している。	地域包括支援センターとは「ぶらり千田カフェ」の相談員として協力や、行事の案内板を屋外に掲示し協力関係にある。保護課とは毎月の日用品の申請の為に伺ったり、ケースワーカーの訪問を受けている。集団指導や地域包括支援センターが開催する年3回の研修に参加している。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体的拘束適正化検討委員会」を設けて3か月に1回話し合い、年2回全職員に向けて研修会を行っている。</p>	<p>3か月に1度開催される「身体拘束適正化委員会」の内容は運営推進会議で報告している。身体拘束の防止と適正な対応に係る研修を年2回開催している。</p>	
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者のお宅や事業所内での虐待が見逃されることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>「身体的拘束適正化検討委員会」を設けて事業所内外で情報を共有して固定概念にとらわれず、しっかりと判断ができるような環境づくりに努めている。</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用している方の入居相談もあり、勉強会で情報共有や話し合いをしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>キーパーソン、ご家族様に重要事項の説明を行い不明な点や不安な点は十分説明し、理解と納得を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>毎月の通信や2か月に1回の定期状況報告書で利用者の様子を知っていただいたり、面会に来られないご家族様へは電話等でコミュニケーションをとるようにしている。</p>	<p>玄関に職員の写真や意見箱が設置しており、意見が言いやすいよう工夫している。出来るだけ面会に来てもらうように働きかけたり、週に1度、血圧・体温・脈拍・食事量の情報を家族に発信する「ヘルスサポート」を通じてコミュニケーションの充実を図っている。</p>	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>定期的に管理者面談、社長面談を行い職員の想い等を聴く場を設け、幹部会議で話し合っている。</p>	<p>年2回管理者・社長面談を行い、必要に応じて管理者が適宜面談している。ケアに係ることはユニットごとに連絡ノートで共有し個々のケアに活かしている。利用者の個別の外出につながった事例もある。希望休は月2日、勤務の希望も可能な範囲で調整している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>定期的に個別面談を行いモチベーションの確認や個別目標の達成に向けての話し合いをしている。</p>		
13		<p>○職員を育てる取組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。</p>	<p>月一回の勉強会と外部研修により個々のスキルアップにつなげている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。</p>	<p>市や地域包括支援センターの勉強会や交流会に参加している。</p>		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。</p>	<p>何気ない会話の中からお本人の気持ちを知り困っていること、要望など汲み取るように努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用開始後、ご本人の様子を電話や面会時に伝え要望等あれば取り入れていくよう努めている。</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人、ご家族の必要としていることが分かった時点でスタッフ間で共有し、臨機応変に対応していくよう努めている。</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>献立やレクの内容を一緒に考えたり、スタッフがすべてしてしまわないよう利用者様も生活に参加するよう努めている。</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族ともご本人の状況、状態等を共有し日頃の様子を知っていただくよう努めている。</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会制限は設けず（やむを得ない場合もある）会いたい人に会える環境をつくっている。</p>	<p>オンラインでの面会や短時間の面会など馴染みの人との関係が継続するよう工夫している。近所の方や生け花の生徒さんの来訪などがある。馴染みの場所として神社や福山城、鞆の浦、バラ公園などにドライブしている。電話の取り次ぎや手紙の投函など支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		<p>○利用者同士の関係の支援</p> <p>利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。</p>	<p>話の合う人同士、席を同じにしたりスタッフが間に入り孤立しないよう気配りしている。</p>		
22		<p>○関係を断ち切らない取組み</p> <p>サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。</p>	<p>地域柄、利用者様のご家族様と顔を合わせる機会があるので、挨拶をしたり交流をもつようにしている。</p>		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。</p>	<p>会話の中から思いや希望等を把握しスタッフ、ご家族様と共有しながら支援に繋げていくよう努めている。</p>	<p>日々の会話の中で、職員が聞いた利用者の思いを連絡帳に記載し、共有した上で検討し対応している。刺繍や編み物、ごみ箱づくりなどの工作に繋がり、献立や食事作り、外出に繋がっている。面会時には家族に様子を伝えるとともに在宅時の様子や生活歴を確認している。</p>	
24		<p>○これまでの暮らしの把握</p> <p>一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。</p>	<p>ご利用前の面談の際、アセスメントやご家族様への聞き取り、会話の中から汲み取るようにしている。</p>		
25		<p>○暮らしの現状の把握</p> <p>一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。</p>	<p>スタッフ間で情報を共有し把握に努めている。</p>		

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。</p>	<p>定期、不定期のカンファレンスで話し合い、情報を共有しながら作成している。</p>	<p>3ヶ月に1回モニタリングを基本としている。毎月のミーティング時に利用者を担当する職員が中心となって職員の評価を取りまとめ、訪問診療時の医師のアドバイスや訪問看護の意見を含めて介護支援専門員が、ケアプランを作成している。面会時に家族の同意を得ている。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。</p>	<p>電子入力と申し送りノートで情報を共有し必要な場合はカンファレンスを行って実践に違いがないよう努めている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。</p>	<p>状況に応じて臨機応変に対応していくようにしている。</p>		
29		<p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。</p>	<p>町内会の行事に参加している。</p>		
30	11	<p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。</p>	<p>2週間おきの往診、24時間の電話対応・緊急時には病院の紹介等していただいている。</p>	<p>かかりつけ医の継続は可能であり、家族の同行を出来るだけ働き掛けている。協力医療機関の訪問診療が2週に1回あり受診している。緊急時の対応も24時間体制をとっている。歯科の訪問診療、重度化に際して訪問看護等利用を支援している。</p>	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の関わりの中で気が付いたことは看護師へ報告し指示をもらっている。看護師不在時も電話対応で指示をもらうようにしている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供し、退院時にはカンファレンスに参加し、医師・看護師・リハビリスタッフより情報提供をもらっている。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前検診時、終末期のあり方について医師、家族と話し合っている。また実際に終末期に入った際、再度ご家族と話し合いの場を持っている。	利用開始時に重度化に際した場合の方針の説明同意を得ている。状態の変化により医師も適宜、医療サービスの利用の確認を取っている。医師、訪問看護、家族と介護職員で連携し、年に4～5名看取りを行っている。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている。	初期対応マニュアルを作成し全員が把握し実践できるようにしている。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	火災訓練は年に2回、うち1回は夜間を想定して行っている。自然災害は年1回、避難訓練を実施し速やかに対応できるように取り組んでいる。	年に2回火災訓練を行い1回は消防署と日程調整を行い実施している。夜間を想定した訓練を1回している。水害が想定される地域のため、浸水がない側の道路を通して同法人が運営する施設に避難する予定である。急な場合は、和室が高い場所にあるので一次的に避難場所としている。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉使いや対応を心掛けている。	接遇マナー委員会で言葉遣いに関する研修を実施している。居室に入る時はノックをし、排尿・排便の声掛けは耳元で行い、入浴時は1対1の対応で羞恥心に配慮したケアをしている。記録類は鍵付き書庫にて管理している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	判断して決定することを尊重している。そのための声掛け等をしている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人ひとりの生活リズムに合わせて支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に一度、出張理美容サービスを利用されている。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を作る際、食べたいものを聞いたり食材の下ごしらえを一緒にしたりしている。	利用者に献立の希望を聞き3食手作りしている。行事食として、ちらし寿司やにぎり寿司、巻き寿司、茶碗蒸しなど提供している。餃子や八つ橋作り、野菜の下ごしらえやテーブル拭き、後片付けなど利用者と一緒にしている。	

自己評価	外部評価	項 目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。	毎日の体調や摂取量等考慮し食事量等加減している。 水分摂取量は各利用者ごとに記入し把握に努めている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。	毎食後口腔ケアの声掛けをし介助が必要な方は支援している。 月2回歯科医の訪問診療を受けている。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。	排泄パターンを把握しできるだけトイレでの排泄を心掛け支援している。	排泄表とタブレット記録により排泄パターンを把握して声掛けに活かしている。夜間2名ほどポータブルトイレの利用があるが日中はトイレを利用している。退院時はおむつの利用であった方でも座位が保てればハビリパンツに移行している。トイレは手すりを設置し自立に向けた支援をしている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。	体操をしたり水分をしっかりと摂っていただくよう働きかけている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている。	週2回以上は入浴していただくよう支援している。 体調がすぐれない場合は清拭や入浴日の変更等で対応をしている。	午前入浴にて、利用者と職員が1対1で、1日に利用者3名が入浴している。拒否のある場合は順番や日程、職員を代えて対応している。気温差に気を付けるとともに、個人用の保湿剤を使っている。ゆず湯など入浴を楽しむ工夫をしている。	

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	<p>状態に応じて休息したり、寝具や室温にも気配りしている。</p>		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	<p>薬剤情報提供書を把握し何か状態に変化があれば看護師にすぐに報告している。</p>		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごすように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	<p>好きなことができるように支援している。生活歴や能力を活かした役割等相談しながら支援している。</p>		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	<p>ご本人の希望を聞きながら近所の公園へ散歩に出かけたり、スタッフと1対1でゆっくりと外出したりと工夫しながら支援している。</p>	<p>外に出での日光浴や、洗濯物の取り込みで外に出ている。週に一度来るパン屋の車に行ったり、おやつのお買物に外出する機会がある。法事や年末年始に外泊する利用者もいる。神社や鞆の浦、福山城、バラ公園にドライブに行くこともある。</p>	
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	<p>コロナ禍以降移動販売等も遠慮しており、お金を使うことがなくなっている。欲しいものを聞いて買い物の際に購入してくることが多い。</p>		

自己評価	外部評価	項目(すずらん)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族様へ手紙を出される際は切手を貼ってポストインの支援をしている。電話も可能な限り希望されれば対応している。</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>絵画教室の生徒さんの絵を毎月貼って利用者様も楽しみにされている。イベントの写真や季節の飾りつけをして居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>	<p>整理整頓され清潔が保たれている。リビングに花を飾り、季節を感じる工作物を壁に展示している。リビングから台所が近く、調理の音や匂いを感じながら生活でき、ソファでゆったりできる空間となっている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>話の合う方と同じテーブルに座っていたり、特に座る位置を決めず居心地よく過ごせるよう工夫している。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族様の写真やプレゼント等を飾ったり、整理整頓に努めている。</p>	<p>使い慣れたラジオやタンス、鏡台、椅子、お経や写真などの持ち込みがある。利用開始前に訪問した自宅の部屋の配置を考慮し利用者家族と配置を決めている。ケアの方法や状態の変化から配置の変更を行うことがある。専門学校の生徒からプレゼントされた表札を活用している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>できることを見極め無理強いせず自尊心を傷つけないよう見守りや声掛けをしている。</p>		

V アウトカム項目(すずらん) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き活きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

自己評価	外部評価	項目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている。	毎朝の朝礼時に全員で理念を唱和し、日々のケアの中で振り返りを行いながら実践している		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している。	コロナ禍で難しい状況が続いてはいるが少しずつボランティアの受け入れを再開している。 年2回の溝掃除、公園掃除へ参加している。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている。	町内会の溝掃除、公園掃除でスタッフが町内会の会員として近隣の方と関わりをもっている。 地域の行事に利用者様と参加したり事業所の行事にお誘いしたりしている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている。	コロナ禍で長く中止していたが今年度より再開している。 2カ月に1回開催しており情報交換と事業所の現状の報告をしている。		
5	4	○市町との連携 市町担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実績やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取組んでいる。	不明な点は市へ問い合わせたり、市や包括支援センター主催の研修等参加している。		

自己評価	外部評価	項 目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	<p>○身体拘束をしないケアの実践</p> <p>代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。</p>	<p>「身体的拘束適正化検討委員会」を設けて3カ月に1回話し合い、年2回全職員に向けて研修会を行っている。</p>		
7		<p>○虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることのないよう注意を払い、防止に努めている。</p>	<p>「身体的拘束適正化検討委員会」を設けて事業所内外で情報を共有して固定概念にとらわれず、しっかりと判断ができるような環境づくりに努めている</p>		
8		<p>○権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。</p>	<p>成年後見制度を利用している方の入居相談もあり、勉強会で情報共有や話し合いをしている。</p>		
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>キーパーソン、ご家族様に重要事項の説明を行い不明な点や不安な点は十分説明し、理解と納得を得ている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>毎月の通信や2カ月に1回の定期状況報告書で利用者の様子を知っていただいたり、面会に来られないご家族様へは電話等でコミュニケーションをとるようにしている。</p>		

自己評価	外部評価	項 目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。	定期的に管理者面談、社長面談を行い職員の想い等を聴く場を設け、幹部会議で話し合っている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。	定期的に個別面談を行いモチベーションの確認や個別目標の達成に向けての話し合いをしている		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている。	月一回の勉強会と外部研修により個々のスキルアップにつなげている		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている。	市や包括支援センターの勉強会や交流会に参加している		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている。	何気ない会話の中からお本人の気持ちを知り困っていること、要望など汲み取るように努めている		

自己評価	外部評価	項 目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている。</p>	<p>利用開始後、ご本人の様子を電話や面会時に伝え要望等あれば取り入れていくよう努めている</p>		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている。</p>	<p>ご本人、ご家族の必要としていることが分かった時点でスタッフ間で共有し、臨機応変に対応していくよう努めている</p>		
18		<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている。</p>	<p>献立やレクの内容を一緒に考えたり、スタッフがすべてしてしまわないよう利用者様も生活に参加するよう努めている</p>		
19		<p>○本人を共に支えあう家族との関係</p> <p>職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている。</p>	<p>ご家族ともご本人の状況、状態等を共有し日頃の様子を知っていただくよう努めている</p>		
20	8	<p>○馴染みの人や場との関係継続の支援</p> <p>本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている。</p>	<p>面会制限は設けず（やむを得ない場合もある）会いたい人に会える環境をつくっている</p>		

自己評価	外部評価	項目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている。	話の合う人同士、席を同じにしたりスタッフが間に入り孤立しないよう気配りしている		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている。	地域柄、利用者様のご家族様と顔を合わせる機会があるので、挨拶をしたり交流をもつようにしている		
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	会話の中から思いや希望等を把握しスタッフ、ご家族様と共有しながら支援に繋げていくよう努めている		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている。	ご利用前の面談の際、アセスメントやご家族様への聞き取り、会話の中からくみ取るようにしている		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている。	スタッフ間で情報を共有し把握に努めている		

自己評価	外部評価	項 目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している。	定期、不定期のカンファレンスで話し合い、情報を共有しながら作成している		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている。	電子入力と申し送りノートで情報を共有し必要な場合はカンファレンスを行って実践に違いがないよう努めている		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれ出るニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる。	状況に応じて臨機応変に対応していくようにしている		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している。	町内会の行事に参加している		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している。	2週間おきの往診、24時間の電話対応・緊急時には病院の紹介等していただいている		

自己評価	外部評価	項 目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している。	日々の関わりの中で気が付いたことは看護師へ報告し指示をもらっている。看護師不在時も電話対応で指示をもらうようにしている		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時には情報提供し、退院時にはカンファレンスに参加し、医師・看護師・リハスタッフより情報提供をもらっている		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる。	入居前検診時、終末期のあり方について医師、家族と話し合っている。また実際に終末期に入った際、再度ご家族と話し合いの場を持っている		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身につけている。	初期対応マニュアルを作成し全員が把握し実践できるようにしている		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている。	年1回、避難訓練を実施し速やかに対応できるように取り組んでいる		

自己評価	外部評価	項目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている。	利用者様の人格を尊重し誇りやプライバシーを損ねない言葉使いや対応を心掛けている		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている。	判断して決定することを尊重している。そのための声掛け等をしている		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している。	1人ひとりの生活リズムに合わせて支援している		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している。	月に一度、出張理美容サービスを利用されている		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている。	献立を作る際、食べたいものを聞いたり食材の下ごしらえを一緒にしたりしている		

自己評価	外部評価	項 目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている。</p>	<p>毎日の体調や摂取量等考慮し食事量等加減している。 水分摂取量は各利用者記入し把握に努めている</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている。</p>	<p>毎食後口腔ケアの声掛けをし介助が必要な方は支援している 月2回歯科医の訪問診療を受けている</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている。</p>	<p>排泄パターンを把握しできるだけトイレでの排泄を心掛け支援している</p>		
44		<p>○便秘の予防と対応</p> <p>便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる。</p>	<p>体操をしたり水分をしっかりと摂っていただくよう働きかけている</p>		
45	17	<p>○入浴を楽しむことができる支援</p> <p>一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている。</p>	<p>週2回以上は入浴していただくよう支援している 体調がすぐれない場合は清拭や入浴日の変更等で対応をしている</p>		

自己評価	外部評価	項目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		<p>○安眠や休息の支援</p> <p>一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している。</p>	状態に応じて休息したり、寝具や室温にも気配りしている		
47		<p>○服薬支援</p> <p>一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている。</p>	薬情を把握し何か状態に変化があれば看護師にすぐに報告している		
48		<p>○役割、楽しみごとの支援</p> <p>張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている。</p>	好きなことができるように支援している生活歴や能力を生かした役割等相談しながら支援している		
49	18	<p>○日常的な外出支援</p> <p>一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。</p>	ご本人の希望を聞きながら近所の公園へ散歩に出かけたり、スタッフと1対1でゆっくりと外出したりと工夫しながら支援している		
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している。</p>	コロナ禍以降移動販売等も遠慮しており、お金を使うことがなくなっている欲しいものを聞いて買い物の際に購入してくることが多い		

自己評価	外部評価	項 目(すみれ)	自己評価	外部評価	
		上記項目欄の()内へユニット名を記入願います	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている。</p>	<p>ご家族様へ手紙を出される際は切手を貼ってポストインの支援をしている 電話も可能な限り希望されれば対応している</p>		
52	19	<p>○居心地の良い共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>絵画教室の生徒さんの絵を毎月貼って利用者様も楽しみにされている イベントの写真や季節の飾りつけをして居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている。</p>	<p>話の合う方と同じテーブルに座っていたり、特に座る位置を決めず居心地よく過ごせるよう工夫している</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている。</p>	<p>ご家族様の写真やプレゼント等を飾ったり、整理整頓に努めている</p>		
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している。</p>	<p>できることを見極め無理強いせず自尊心を傷つけないよう見守りや声掛けをしている</p>		

V アウトカム項目(すみれ) ← 左記()内へユニット名を記入願います			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。	○	①ほぼ全ての利用者の ②利用者の3分の2くらいの ③利用者の3分の1くらいの ④ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	○	①毎日ある ②数日に1回程度ある ③たまにある ④ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
60	利用者は、戸外への行きたいところへ出かけている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	○	①ほぼ全ての利用者が ②利用者の3分の2くらいが ③利用者の3分の1くらいが ④ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	○	①ほぼ全ての家族と ②家族の3分の2くらいと ③家族の3分の1くらいと ④ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
66	職員は、生き生きと働けている	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③職員の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③利用者の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/>	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の3分の2くらいが <input type="radio"/> ③家族等の3分の1くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

(様式2)

2 目標達成計画

事業所名 グループホームスマイル

作成日 令和5年12月25日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点, 課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	7	職員の適切な目標設定を促し、コーチングしていくことで個々の可能性を広げる。	社長面談・管理者面談を年に4回行っているが、さらに面談回数を増やす。	本社の人間との面談を追加し年に5回の面談を増やす。	2024年の1年間
2					
3					
4					
5					
6					
7					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。